

歯科材料 5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科接着用レジンセメント
JMDN コード: 70836002

リライエックス™ ベニアセメントペースト

【禁忌・禁止】

本材及びメタクリレート系モノマーに対して、発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 本材には A1、A3 及びトランスルーセントの色調のものがある。

性状	組成
ペースト	メタクリレート、ジメタクリレート、無機質フィラー、着色剤、その他

2. 原理

本材は、光照射によって硬化する光重合型のレジンセメントである。

【使用目的又は効果】

ラミネートベニア等の接着に使用する。

* 【使用方法等】

1. ボーセレン ベニアの接着面は事前に、ラボで適切に表面処理する。コンポジットレジン ベニアの接着面はサンドブラスト処理で粗造にする。
 2. 仮封材または仮着材がある場合は除去する。歯面を清掃し、その後、水洗、乾燥する。
《使用方法等に関連する使用上の注意》
ユージノールを含まない仮封材、仮着材を使用すること。
 3. 水または別売りのリライエックス™ トライインペーストのトランスルーセントでベニアを試適して、色調を確認する。色調が適合していれば、手順 5. に進む。
 4. 色調の調整が必要な場合は適切なシェードのリライエックス™ トライインペーストを選ぶ。直接、ベニアの接着面にリライエックス™ トライインペーストを塗布して、ベニアを歯面に合わせる。
 5. 色調確認後にベニアを外して、リライエックス™ トライインペーストを洗い流して乾燥する。
- * 6. ベニアの接着面を洗浄する。リン酸エッチャント(34~35%リン酸)を塗布して 15 秒間放置後、水洗、乾燥する。
- * 7. ベニアの接着面への前処理を行う。
- ボンディング処理に別売りのスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブを使用する場合の前処理-
- ディスポーザブル アプリケーターブラシを使い、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブをベニアの接着面全体に塗布し、塗布面をゆるやかなエアードで、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。光照射は行わないこと。
- ボンディング処理に別売りのシングル ボンド プラスまたはスコッチボンド™ マルチパーパス プラスを使用する場合の前処理-
- 別売りのリライエックス™ セラミック プライマーをベニアの接着面に塗布し、約 5 秒間乾燥する。
- * 8. 歯面を清掃し、水洗、乾燥し、防湿する。隣接歯との不要な接着を防ぐため、マトリックス用ストリップスを装着する。
- * 9. 歯面にリン酸エッチャント(34~35%リン酸)を塗布して 15 秒間放置、10 秒間水洗する。溜まっている水分を綿球等で吸い取り、歯面を湿潤状態に保つ (プロットイング)。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- 1) 歯面は湿潤状態を保つようにする。特にエッチング後の象牙質が乾燥すると接着力が低下する。
 - 2) 術後疼痛の恐れがあるので、生活歯への過度のエッチングは避けること。
 - 3) エッチングが正しく行われたかどうかは、処理部エナメル質の白濁の有無を確認すること。
 - 4) エッチング後に歯面に唾液で汚染された場合は、5 秒間再度エッチングをやり直すこと。
 - 5) 歯面を乾燥すると接着力が低下する。
 - 6) 乾燥に使うエアードは油や水の汚染のないことを確認すること。
 - 7) 患者および術者は眼の保護具を着用すること。
 - 8) エッチング終了時の水洗によりエッチャントが飛び散ることがある。患者の顔面などへ飛散しないよう注意すること。
 - 9) 他の人が不用意にエッチャントに触れる事故を防ぐため、使用後に残ったエッチャントは水で洗い流すこと。
10. ボンディング処理を行う。
- * -別売りのスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブを使用する場合-
- 1) ディスポーザブル アプリケーターブラシを使い、スコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーシブを歯面(セメント接着面)全体に塗布し、20 秒間処理する。
 - 2) 塗布面をゆるやかなエアードで、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。光照射は行わないこと。
- 別売りのシングル ボンド プラスの場合-
- * 1) 歯面にシングル ボンド プラスをブラシにて塗布する。この際、2~3 度続けて塗布し、十分にシングル ボンド プラスの付いたブラシで 15 秒間軽く擦る。塗布面をゆるやかなエアードで、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。光照射は行わないこと。
- * 2) 手順 7. でリライエックス™ セラミック プライマーを塗布したベニアの接着面にシングル ボンド プラスをブラシにて 1 回塗布する。塗布面をゆるやかなエアードで約 5 秒間乾燥する。光照射は行わないこと。
- 別売りのスコッチボンド™ マルチパーパス プラスの場合-
- * 1) 歯面にスコッチボンド™ マルチパーパス プラス プライマーをブラシにて塗布する。塗布面をゆるやかなエアードで約 5 秒間乾燥する。
- 2) さらにスコッチボンド™ マルチパーパス プラス アドヒーシブをブラシにて塗布する。光照射は行わないこと。
- * 3) 手順 7. でリライエックス™ セラミック プライマーを塗布したベニアの接着面にスコッチボンド™ マルチパーパス プラス アドヒーシブをブラシにて 1 回塗布する。光照射は行わないこと。
- * 11. 手順 3. あるいは手順 4. で選択したシェードのリライエックス™ ベニアセメントペーストをボンディング処理したベニアの接着面に薄く塗布する。セメントペーストに直接無影灯の光をあてないこと。
12. ベニアをセットする。マージンから離れた部分を 20 秒間光照射する。
- 《使用方法等に関連する使用上の注意》
- * 照射時間は、標準的なハロゲンランプ照射器 (光強度 400mW/cm² 以上) を想定している。実際の使用前に本材が確実に硬化する条件を確認すること。

- * 13. マージン部の余剰セメントを適切な器具や乾いたブラシを用いて除去する。余剰セメントは、標準的なハロゲンランプ照射器を用いて約 3 秒間のタックキュア後、ゲル状になった時点で除去することもできる。
- * 14. 各方向（唇側面、舌側面、近遠心面、咬合面）から各 30 秒間光照射する。
- * 15. マトリックス用ストリップスを外し、マージン部を仕上げ研磨する。必要に応じて咬合調整する。

***【使用上の注意】**

1. 重要な基本的注意
 - 1) 本材の使用により発疹等の過敏症状があらわれた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
 - 2) 本材はメタクリレート類を含有している。メタクリレート類は接触アレルギーとして知られている。これらの材料の付着によるアレルギーの危険を減少させるために、患者も医療従事者自身も接触を最小限にすること。特に未重合のペーストへの接触を避けること。保護手袋を使用すること。万一ペーストが皮膚、粘膜に付着した場合には、すぐに大量の流水で十分に洗い流すこと。ゴム手袋はメタクリレート類の浸透が知られているため、ペーストが付着した場合はすぐ手袋を捨てせっけんと大量の流水で手を洗い、その後新しい手袋を着用すること。もし、炎症が続く場合には、専門医の診察を受けること。また、患者、医療従事者を守るために保護めがねなどを着用すること。万一、眼に入った場合には、すぐに大量の流水で十分に洗浄して専門医（眼科医）の診察を受けること。
- * 3) ボンディング処理にはスコッチボンド™ ユニバーサル プラス アドヒーズ、シングル ボンド プラス、スコッチボンド™ マルチパーパス プラスを使用すること。その他の接着材製品との併用使用は保証の限りではない。
- * 4) リン酸エッチャント(34～35%)は、眼や肌への接触により化学やけどを起こす可能性がある。術者や患者は、適切な防護具を着用し接触を防ぐこと。接触した場合は、すぐに大量の流水で十分に洗い流し、専門医の診察を受けること。
- 5) 本材は、約 21～24℃で使われるように設計されている。冷蔵保管した場合は、使用前に室温に戻すこと。
- * 6) 本材の容器（シリンジ）の消毒にはアルコール、第四級アンモニウム塩等を含有する消毒用ワイプを使用すること。血液、唾液等が付着した場合は直ちに廃棄すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
 - 1) 10～27℃
 - 2) 本材を高温または直射日光にさらさないこと。
 - 3) ユージノール系製品と同じ場所に保管しないこと。
2. 有効期間
 - 1) 包装に記載[自己認証(製造元データによる)]

****【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売者

名称：スリーエム ジャパン イノベーション株式会社

** TEL：0120-332-329（カスタマーコールセンター）

外国製造所の国名及び製造業者の名称

** 米国、スリーエム ヘルスケア ユーエス オブコ エルエルシー
(3M Healthcare US Opco LLC)

スコッチボンド、リライエックスは、3M 社の商標です。